

■ ワーク:立ち居振る舞い・動作が与える影響

<ワーク手順>

話し手は自分の伝えたい事を相手に伝わるようにしっかり話します。
聞き手は下記の態度パターン①②を行いながら話を聞きます。

1. 準備時間:伝えることを考える(3分)
2. 順番を決める
3. 話し手が聞き手に対して、パターン①で話す(3分)
4. 交代して実施(3分)
5. どのように感じたかお互いに共有(3分)
6. **同じ内容の話**をパターン②で話す

<パターン①の聞き方>

話し手からどう見えるか

- ・無表情、無反応 →
- ・肘を突いて →
- ・ペン回しながら →
- ・視線を合わせない →
- ・腕組みをして →
- ・腕時計を見る →
- ・貧乏ゆすり →

<パターン②の聞き方>

- ・表情:笑顔
- ・あいづちをうったり、相手の反応に合わせて言葉を挟む
- ・ペンを持つ
- ・前のめりになって聞く
- ・目に力を入れて合わせる